

「再稼働」阻止! 「御用学者」追放!

学生のかで 原発なくそう!

9/9~10 全学連大会への参加を訴えます

今こそ学生が立つべき時が来た

法政大学文化連盟委員長・斎藤郁真



私は、入学以来法大闘争に関わり、4年間、我が母校・法大をはじめ多くの大学の腐敗と闘ってきました。そして、「3・11」と原発事故で明らかになったことは、「大学」そのものが腐っていたということです。

だから、全学生に全学連大会に参加してほしい。学生は団結し、私たちの大学をカネ儲けにしか興味のない腐った連中から取り戻すため、学生の全国組織を復権しよう。それが学生自治会であり、全学連です。大学とこの国のあり方を変える先頭に私たち学生が立とう。

●真の敵は、新自由主義と「教育の民営化」

新自由主義は、小泉政権の「大学改革」政策により、「産学連携」の美名の下に大学に本格的に入り込み始めました。大学にとって「カネにならないもの」が徹底的に潰されま

した。自治寮・学生自治会・サークル会館、…法大でも私の入学時にはすでにこれらはほとんどありませんでした。

これと一体で、学生の自主活動破壊に抗議した学生は徹底的に弾圧されてきました。法大では、この5年半でのべ118名の逮捕-33人の起訴、二桁を超える停学・退学処分が闘う学生に下されてきました。かくいう私も、昨年法大当局から「退学処分」を下されています。

●未来を切り開くのは私たち学生だ!

しかし、「3・11」と原発事故で、大学の正体は明らかになりました。学費で私たちの未来を奪う研究を進め、マネーゲームに興じ、大恐慌での損失を理由に学費を上げる。批判する学生を「就活」や「奨学金」で脅し、それでも抵抗すれば大学から追放する。学生の全行動を「規則」で縛り上げる。その行き着いた先が「原発推進大学」であり、「放射能を浴びても安全」と言って福島の子どもを殺していく「教授」たちではありませんか! 法大闘争はこれらと徹底的に闘い抜き、「文化連盟」という学生の団結体を守り抜いてきました。この闘いを全国でも展開しよう。

未来を切り開くのは青年・学生です。私たち学生は「未来」を代表する存在として、社会の閉塞感を粉砕する突破口を切り開く先頭に立とう。社会を評価することではなく、社会を変えよう。私はその先頭に立ちます。全国学生運動と全学連運動を復権し、反原発の運動をキャンパスで拡大するために、すべての学生は全学連大会に集まろう! 御用学者を追放し、腐った大学を変えよう!

全学連

全日本学生自治会総連合(織田陽介委員長)

Tel/Fax 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp

「フクシマの怒り」と一つになって

全学連委員長代行・坂野陽平(上智大学)

私たち全学連は、200万福島県民の怒りと一つになって、全原発の廃止へ闘い抜く決意です。

原発事故以来、福島県民は生活と仕事を奪われ、家族をバラバラにされました。「原発」という言葉すら知らなかった子どもたちは、放射線管理区域並みの高濃度放射線下で

の生活を強いられ、すでに45%の割合で甲状腺に被曝をしています。この現実に対し、福島県・放射線リスク管理アドバイザーの山下俊一(長崎大教授)は「放射能はニコニコしている人のところには来ません。クヨクヨしている人に来ます」などとデマを触れまわっている。許せない!

福島の人々は怒りと不安の中で、「ぜひ若い人たちの力で原発を止めて下さい。二度と福島のような子どもたちをつくってはダメです」(子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク・佐藤幸子さん)と叫んでいます。福島大生は「私たちが発言すれば変わります。原発はなくせるはずです」と訴えています(6・19福島現地集会にて)

この思いに応えよう。怒りを一つに、学生は行動に立ち上がろう。御用学者を大学から叩きだそう!

●学生力で「再稼働」絶対阻止を

この9月、私たち学生がいかなる行動をとるかに、原発廃止の帰趨がかかっています。日本の全原発54基のうち40基はすでに稼働を停止しています。定期検査中の原発の再稼働を阻止し続ければ、全原発の停止を勝ちとることができます。全原発停止・廃止は絶対に可能です。

8月18日の、北海道電力・泊原発3号機の営業運転再開を徹底弾劾します! 原発事故を受けても検査基準を変え



ず、新たに発見された断層すらも無視した「強行」です。しかもこれに御用教授が「安全」のお墨付きを与えている!

全学連大会の翌日、9月11日には「再稼働阻止!」を焦点に、反原発の全国一斉デモが巻き起こります。東京では大デモが新宿で爆発します。19日には、東京・明治公園で5万人をこえる怒りの声があげられようとしています。

全学連大会から反原発の壮大な闘いが始まります。ともにこの歴史的な闘いを担おう!

●反原発の闘いの中から学生自治会つくろう

原発を止め、この社会を根本的に変えよう。原発の真の姿とは、非正規・下請け労働者への被曝の強制、交付金を逆手に取った過疎地域への建設強行、御用学者の存在と虚構に満ちた学問、そして日本の核武装。原発の中に、社会の矛盾がすべて凝縮されています。

「奪われたものを奪い返そう」——イギリスで若者たちが反乱に立ちあがっています。イギリスの若者の闘いの激しさは、怒りの激しさと変革の巨大さを示しています。

そして11月6日、日比谷野外音楽堂から全世界に呼びかけて行われる反原発・反失業大集会で、怒りが一つになろうとしています。

あらためて訴えます! すべての学友は全学連大会に集まり、9月11-19日の反原発大行動を成功させよう! 団結と運動を拡大し、キャンパスに学生自治会をつくり、反原発の大運動を巻き起こそう!!



米「反戦の母」=シンディ・シーハンさんと原爆ドーム前をデモ(8月6日)

全学連第72回定期大会

- ◆全原発の停止・廃炉!
- ◆「教育の民営化」と対決し、学生自治会を甦らせよう!

【日時】9月9日(金)~10日(土)

※9日午前9時半に開会

【会場】9日: 文京区民センター

(東京都文京区本郷4-15-14)

10日: 浜町区民館

(東京都中央区日本橋浜町3-7-1)

対政府交渉 「子どもたちを守れ!」

~フクシマとともに立ち上がろう!~

●日時: 8月25日(木) 9時半~14時

●場所: 参議院議員会館・101会議室

※有楽町線・永田町駅もしくは

丸ノ内線・国会議事堂前駅より徒歩5分

*先週17日に「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」の主催で対政府交渉が行われました。

*この行動に続き25日、20mSv基準や避難区域など、生きるための要求を叩きつける対政府交渉が呼びかけられています。ともに声をあげよう!